

発行責任者 都立向丘高等学校同窓会  
 会長 小川 力 洋  
 編集 会報委員会  
 事務局 〒113-0023  
 東京都文京区向丘1-11-18 向丘高校内  
 TEL 3811-2022  
 FAX 3812-4055



**看板大賞〔21年9月向陵祭(文化祭)〕**

2年1組 伊藤まり絵さんのコメント

看板大賞という素晴らしい賞をありがとうございます。この看板を見て、少しでも恐怖を感じてくれたら、私はとても満足です。この看板を製作するにあたって、たくさんの方が協力してくれました。土曜日を返上しての作業にも関わらず、皆さんありがとうございました。このような形で賞を頂けて、とても嬉しいです。(8Pに選出説明あり)

御挨拶

同窓会活動の動き

認識されご参加へ!

同窓会会長

小川 力洋



会活動の担い手は先ず会報での絆作りです。これを頼りに年間事業を繰り広げて行っているものです。内容を綴って見ます。

①会報の発行・配送について

現学校に在校生を通じて体制の状況報告を行って頂きます。又同期会・同級会等の動勢報告を頂き、更に振興助成として通信費の補助を行って頂きます。

全国に一万八千余名の卒業生の中で現在在所が分っている方へ一万余名へ、要、不要を問わず送付し、絆を図っている所です。

これに対する費用は新卒業生の入会金をもって賄われてきております。数年前までは、ほぼ全員の入会がありました。近年は入会に對して同意書を頂くという手続きが必要となつて参りました。それにより見積金額が左右されるという具合です。

是非一生の絆になろう「やよい会」をお互いに認識し、育てて欲しいものと念願しております。

②入会・新成人歓迎会
入会者には記念として昨年(二十一年四月)から特別注文にて独自の印鑑を発送して、その年の総会時に歓迎会と同時に贈呈して

極端に申しますと財源が乏しくなつてしまつたとき如何にすべきか?を先行きは考慮する必要がありますであろうと危惧されるところであります。

③総会時のアトラクション
母校で毎年総会を行つておるものですが会員の参加が少数です。同時開催では対外的にも覇を競っている母校の吹奏楽部員によるアトラクションをお願いしております。これを激励するためにもご来場し、拝聴下さる事を期待している所です。

④全国大会の開催
母校まで出向くのは難しいと言われる方が多いことと思われまふ。そこで会員在住が多数の地域を考え、毎年行つて頂きます。近くで開かれる時は是非進んでご参加下さる様にお知らせいたしております。

⑤ホームカミング(学校訪問)
母校の文化祭(向陵祭・二十二年九月十八日・十九日予定)が開催されますが、会員の皆様が気軽に来校して頂けます様に、何らかのセミナーを用意しております。

又、PTA展示室に同時開催として同窓生の作品等の出展をすることが出来ます。
※この所、学校側から会員さんの中で生徒達に為になる様な体験談・講演を引受けてくださる方がおられないだろうか?と問われておりますので、やつて見ようのご意見を要望します。

⑥合同旅行会
廉価で安心して仲間で一夜を共にして旧交を温め合おうという主旨で進めております。役員のみでなく広く一般会員様のご参加も望んでおります。

同窓会活動のご案内 (やよい会)

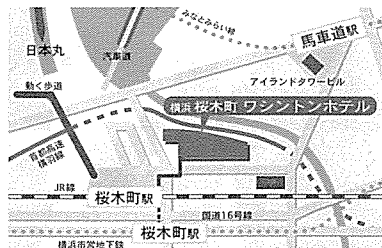
- ①平成22年4月25日(日)
  - ☆総会 受付13:00 開始13:30~14:15 (会務、会計の報告、審議)
  - ☆記念演奏会 14:30~15:30 出演:母校吹奏楽部員 指揮:前原 覚 先生
  - ☆懇談会 16:00~18:00 お料理・ティーパーティ 抽選会(県名ゲーム)あり 一般会員参加費 ¥2,000

新成人祝う会 平成20年3月卒業生 21,22年卒業生無料招待します。但し、卒業時の各学級幹事が参加人数をおまとめの上、会長までお知らせ下さい

- ☆申込方法(一般会員) 同封の用紙にて4月17日(土)までにお振込下さい
- ☆場所 すべて母校6階多目的ホール

- ②平成22年5月23日(日)
  - ☆全国大会 “やよい会横浜大会”
  - 第1部 散策歩こう会(ぶらり3時間)
  - 集合 午前10:00 JR桜木町駅前

- コース 汽車道~ワールドポーターズ~赤レンガ倉庫~大棧橋~ホテルへ戻る(詳細は4Pへ)
- 第2部 懇親会 13:00~15:00 於ワシントンホテル 5F レストランベイサイド
- 会費 ¥3,500(他 会員負担) ☎045-683-3166



同封の用紙のその他の欄に横浜大会費とご記入の上お振込下さい。(予約都合にて)

- ③平成22年9月4日(土)~5日(日)
  - ☆合同旅行会 参加者募集!!
  - 行き先 日光国立公園 中禅寺温泉 ホテル 湖畔亭

- ☎028-851-0601
- フリーダイヤル0120-582-874
- 会費 ¥10,000(すべて込)
- ☆申込 小川会長まで
- ☆〆切 8月10日 [集合場所等詳細は後日連絡]

- ④平成22年9月18日(土)~19日(日) 9:00~15:00
- ☆学校訪問(ホームカミング会) 母校向陵祭(文化祭)音楽・演劇・研究発表あり PTA展示室にて同窓会作品展あり 一般会員の出品歓迎(要連絡小川会長まで)
- ☆懇親会 9月19日(日) 15:30~17:00(ノンアルコール)
- ☆会費 ¥2,000(土産付)
- ☆場所 A棟3階会議室 要申込(小川会長まで)

総合問合わせ先 〒114-0012 東京都北区田端新町1-27-11 東京都立向丘高等学校同窓会 会長 小川 力洋 TEL 03-3893-9792(代) FAX 03-3893-9793

努力する時期は若い時が最善



校長 前園 実

同窓生の皆様、平素より本校を応援頂き誠にありがとうございます。小川同窓会長を始め同窓会役員の皆様方の暖かいご支援に深く感謝いたします。

今年度は、五月から若い人を中心に全国的に新型インフルエンザが流行しました。また、高校生・大学生の就職難の年でした。新型インフルエンザにつきましては、手洗いやうがい、励行など本校としてできる限りの対策を施しましたが、夏休み中から罹る者が増え、二学期の向陵祭は無事終わりましたが、十月に入り流行は更に拡大して、一クラスを四日間学級閉鎖しました。十一月の修学旅行は、現地で罹ることを前提に保険をかけ無事終了しました。第一波については、十二月末で全校生徒の罹患率二十一・九%（二学年は約四割、二学年は約二割）で、年末になって小康状態が続いています。新しい年が始まり、三年生の大学入試の時期にあたり、第二波の様子を見ているところです。

就職難について厚生労働省の発表によると、昨年の十月一日時点で大学四年生の就職率が約六十二・五%、高校生三十七・六%と最悪です。しかし、本校の就職希望者は十二月末までに全員就職できました。後は、大学進学希望者の合格報告を待っています。

インフルエンザと就職難に追われた年ですが、向丘生は、それにも負けず元気に勉強と行事・部活動に励んでいます。授業の発展である夏休みや冬休みの校内講習に参加して実力を付けています。三年生の、成績優秀者が続々と大学に合格しています。サッカー・テニス・バスケット・バレーボールなどの運動部だけでなく、吹奏楽部・美術部や演劇部などの文化部も向陵祭を中心に活躍しています。

今年度の向陵祭ではダンス同好会が入賞しました。演劇部は、高校生朗読大会で入賞しま

した。

イギリスのオックスフォード大学のオール・ソウルズ・カレッジの日時計には「時間は消滅するものなり。かくしてその罪は我らにあり」という言葉が刻まれているそうです。時間だけはわれわれの裁量に任ざられています。一度過ぎてしまえば二度と取り戻せない。時間は貴重な財産です。「学校の授業以外に、家庭で勉強していない人は、まず毎日一時間勉強に取り組んでみる努力をしてみてください。例えば大学入試の数学は一五〇分あります。一日に三〇分しか勉強しない人が、これをできるわけがありません」と二学期の終業式で生徒に話しています。

努力する時期は若い時が最善です。一時、生涯学習の時代といわれ、人は学校を出てからも常に勉強が必要といわれました。それは当然のことですが、生涯学習の「いつでも、どこでも、学びたいときに学ぶ」という面だけ強調され、「何も学齢期に懸命になつて学ばなくても、生涯のどこかで学びさえすれば良い」と、学校での勉強をおろそかにするように誤解された部分があります。勉強しなくなったことで生じたゆとりの時間は、高校生は、テレビ・ゲーム・携帯電話でのメール交換等に費やされたり、アルバイトや放課後に繁華街を徘徊することに充てられる例が多いです。「学校へ行きたくなければ何も無理していかなくても良い」というよう曲解されて、せっかくの学齢期のチャンスを無為に過す結果になった例も少なくありません。

ゆとりを持たせ余した少年少女たちが、非行や犯罪に走るようなことがあつてはいけません。「水は低きに流れる」と言われます。思春期の子ども達はエネルギーを持って余しているのが普通です。その持て余すエネルギーを「次元の高いものに昇華させる」ために、大学受験・資格取得や芸術・スポーツなどにエネルギーを消化するように向けるのが本校の役割です。幸い本校には、若さを燃焼させようとする生徒を育てる学習指導と部活動指導に優れた教師がたくさんいます。

試を導入します。具体的には、女子バレーボール部と剣道部で三年間継続して活動する意欲のある生徒の入学を支援するものです。また、一時的な中学三年生の急増に配慮、二十二年度は臨時に一学級増となります。更に、基本的な生活習慣をつけるために、遅刻・頭髮指導を含む生活指導も昨年に続き継続します。

今年、夏休みに学校見学会に九四〇名（昨年七八三名）、学校説明会に一一六三名（昨年一〇六五名）の中学生とその保護者の方がご参加されました。また、部活動体験には十五中学校延べ三十三名の中学生が参加しました。将来の向丘生と、現在の在校生、同窓生の皆様のために、本校の中期の学校像を以下のよう

①ご近所の方で、「向丘の生徒は礼儀正しく清潔である。向丘生を応援する」と言われる方が倍増する。（一〜二年後）

②難関大学から民間企業の就職まで進路を保障してくれる都心のおしゃれな学校と言われる。入選倍率は男女ともに一・四〜二倍になる。（一〜三年後）

③校庭は狭いが、まず室内競技や文化部が都大会ベスト八から関東大会に出場する。（三〜四年後）

④都会のヒートアイランド化を防ぐための屋上緑化・太陽光発電する（一〜四年後）

本校を発展させるための方策をお持ちの方がいらつしやれば、お知恵拝借ください。ご支援よろしく願っています。

同窓会活動報告

「やよい会茨城大会」に出席して



友部 (立川) 佳子

同窓会の絆全国に  
S 35年卒

「やよい会茨城大会開催のご案内」を頂き、九十二名の同窓生が茨城に在住していらつしや

関心でしたが、せっかく水戸で開催されるのだからと、出席いたしました。

講演会は、「原子力科学研究所テクニカルアドバイザー」の伊勢武治氏が難しい原子力の話を素人にも分かり易くして下さり、昼食懇談の後、「東海村の原子力科学館」と、「げんでん東海テラパーク」（展示館）に案内して下さいました。原子炉についてや、自然界にも食品の中にもある放射線がどんな働きをし、身近にどんな利用をされているかなど、興味深い展示が一杯でした。後日、テラパークには娘と一緒にいき、同窓会で来た話をし、館内クイズに挑戦したりして楽しく過ごしてきました。その時は、日立市の大久保小の四年生が校外学習に来ていましたが、将来を担う子ども達が原子力の平和利用を考えることは大切な事です。

出席するまでは初めての同窓会で不安な気持ちで一杯でしたが、会長さん始め幹事の方は素晴らしい方ばかりで、暖かく迎えてくださり、出席してよかったですと心から思える楽しい一日でした。

米国サン・ノゼで、米国公認会計士として働いている息子が、どこに行っても三田会（同窓会組織）があるから楽しいし、助かると言っています。

「やよい会」も日本全国に広がりがつつあるようです。会長さん・幹事さんのご努力の賜物ですが、改めて同窓会組織に感謝し、益々の発展を祈念致します。まだ出席なさったことのない皆さんも、ご当地で開催の折は是非参加なさってみて下さい。



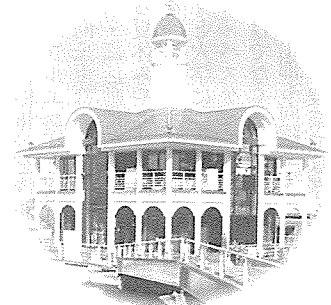
東海テラパーク前 玄関にて 2009. 5. 24



### 平成22年5月23日(日) 全国大会 “やよい会横浜大会”

#### 横浜みなとみらい地区ウォーキングツアー

AM10:00 JR桜木町駅前集合  
 当日連絡先 (080-4051-7414 小川 携帯)  
 ワシントンホテル～汽車道(廃線の道です)  
 ～横浜ワールドポーターズ(めずらしいものをたくさんゲット)～赤レンガ倉庫(今どきのお店がレトロな建物にぎっしり)～大栈橋(芝生が敷き詰められた大屋根に寝転んで海風を満喫しよう!)～桜木町駅前ワシントンホテル5Fレストランバイサイドへ



ゆっくり歩き、途中で休憩も入れて3時間です。

歩けない人は、歩けなくなったその場所でリタイアし、ワシントンホテルでの懇親会に直接向って頂きます。

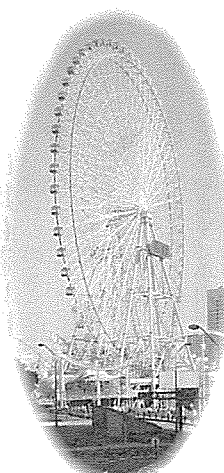
もし雨の場合は、大栈橋以降はあきらめて、横浜ワールドポーターズと赤レンガ倉庫でゆっくりします。

懇親会終了後、もしまだ時間に余裕があれば、大観覧車に乗りみなとみらい地区の全貌を眺めるのもよいと思います。

大栈橋から桜木町間はバス・水上バスの利用もできます。

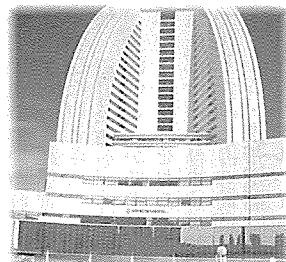
昨年開港150年で賑った辺りを“ぶらり旅”という思考です。大勢のご参加をお待ちしております。

尚、終了後の懇親会にもご出席頂けます方は、小川会長 (03-3893-9792) までお申込下さい。



(左) 横浜桜木町ワシントンホテル

インターコンチネンタルホテル正面



### 活動だより

#### 浜名湖花博へ

京都と東京からトツキング  
S41年卒



尾道 郁代  
(旧姓 大橋)

去年のやよいにのせたお手紙で京都の豊子さんから返事をいただきました。是非会いたいね。

学生時代の五人のグループ。東京で会える四人と相談してどこで会えるか考えていたところ別の友人から浜名湖で花博をやっていることを耳にしました。京都と東京の中間点でちょうどいいと思いつつと再会を果すことができました。

十一月八日浜松駅のホームに豊子さんは立っていました。ドアが開くのもどかしにくいに思えました。新幹線が止まると四人で豊子さんが付けて寄って行き十年ぶりの再会でした。花博行きのバス停をさがし、五人並んで座れる一番後に座りました。しばらくぶりの再会は何から話していいのか解らず、たわいない日常の話ばかりになってしまいました。

花博の入場券・六十才以上はプラチナ券と安くなりました。シルバーは耳なれしていましたがプラチナははじめて聞きました。十一月だというのに天気もよく暑いぐらいの日曜日でしたので入場者はとても多かったのですが、会場は広くて十分に見学できました。

日帰りでしたので三時過ぎにはバスに乗らなくては新幹線に間に合わなくなるので早々に会場を引き上げました。浜松駅でおみやげを買ったり喫茶店で一時間程ティータイムを



浜名湖花博会場にて

### ひろば

#### 母校を愛する心を忘れずに



S31年卒  
川端 春生  
(旧姓 三橋)

ともかく今春、干支(十二支)の六巡目の年を迎えることになった。寅年の年男である。節分には、近所の神社で豆まきをしたと思う。我が家では、節分の夜は「鬼は外、福は内」と大声を出しながら豆まきをする習慣がある。道行く人はびつくりするが、やっ

てる本人は、結構いい気持ちだ。最近はずももたちも夫立し老夫婦だけだが、元氣なうち

は続けた。さて、「思い出」欄に高校時代の思い出や当時の世相などを投稿させていた

だいて十回近くなる。そろそろ種がなくなつてしまったようだ。多分潮時だろう。粗のでないうちに止めたほうが得策だと思う。節分の豆まきとは違うようだ。

向丘で過ごした頃の写真をいくつかアルバムの中から取り出してみた。バレーボール部の仲間、体育祭、その他いろいろのうち、何かを掲載することにした。少しでも当時の面影が映るといいが、と思っている。みなさんも古きよき時代の向丘の学校に繋がる写真をお持ちなら、簡単な文を添えて投稿してほしいと思う。

在校生の皆さん、母校はいくつになっても母校であり続ける。年とともにますます懐かしい存在になってくる。ぜひ、母校を愛する気持ちを忘れないでほしいと願っている。

(平成二十二年一月)



昭和30年 バレー部の仲間たち

世界遺産の旅 中国・四川省



S 32年卒

佐藤 元是

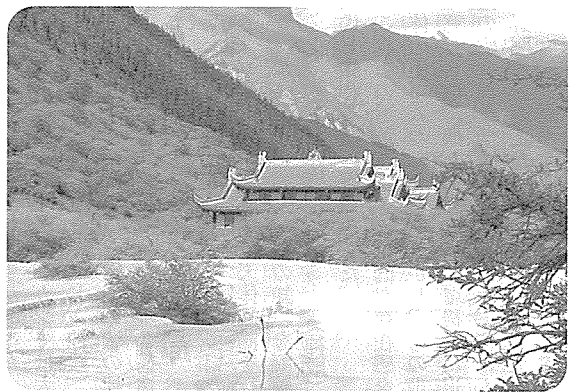
ユネスコに登録されている世界遺産は、八九〇件に及ぶ。中国は、イタリアの四四件に続く三八件で、世界第二位となっている。昨秋、この中国の四川省にある「峨(が)眉山と楽山大仏」・「九寨(さい)溝」・「黄龍」を巡った。

省都・成都の南西約一六〇kmにある峨眉山は、多くの歴史的な名刹が建つ、中国の仏教聖地である。風光も明媚と言う。訪ねた山頂の一つ・金頂の標高は三〇〇〇mを越えている。麓から金頂付近までの標高差四〇〇mを、一〇〇人もが乗れる大きなゴンドラで上ると

雨になっていた。更に、金頂への六〇〇mの緩い石段を進むと、華藏寺の巨大な金色の多面菩薩菩薩が聳えていたが、雨で霞みその表情を窺うことは叶わなかった。一年の内、三〇〇日は雨か霧と言われる、その雨のため眺望も利かず、世界遺産であることの所以を実感できなかった。楽山大仏は、峨眉山からバスで約一時間の凌雲山の断崖に彫られた、

世界最大の弥勒大仏の坐像である。高さ七一m、肩幅二八mで、足の甲には一〇〇人が座れると言う。岷(びん)江、青衣江、大渡河の三江が合流する場所で、その氾濫の鎮静化と船の安全を祈願して、唐代に造営を始めた凌雲寺の僧・海運とその後継者により九〇年を経て完成した。小雨が残っていたが、大仏

を正面から観るため遊覧船に乗った。船は大仏に近くなって停泊し、船尾にいた自分からは斜めになり、大仏が断崖の端に隠れて十分には見えない所で動かなくなった。近くの乗客も不満を漏らしていたが、その理由は直ぐ



黄龍古寺と五彩池/黄龍

に分った。船は舳先を大仏の正面に置き、一〇人ほどの観光客を相手に大仏を背景とする商業写真を撮っていたのだ。その大きさは驚いたが、肅然とした大仏は手を膝に置いて岷江を見守っていた。観光の後、バス駐車場までの約一〇〇〇mは、一〇元(約一五〇円)の自転車タクシーの乗り心地を楽しんだ。

九寨溝は、成都の北西四五〇kmにある。成都から空路を経て訪ねた。日則溝、則查娃(あい)溝とが合流して樹止溝となったY字形の、北に向かつて流れる全長五〇kmに及ぶ大きな溪谷で、大小一〇〇余りの湖沼や瀑布が点在している。標高は二〇〇〇〜三四〇〇mである。その名は、チベット族の「集落」を意味する、九つの「寨」があったことによる。公式には、「九寨溝緑色旅遊觀光車」と呼ぶ、

天然ガスを使用するグリーンバスに乗った。美しい青緑色の湖水は湖底が見えるほど透明で、沈んだ倒木は石灰に覆われ、真っ白な樹水を思わせた。湖水が極めて透明なのは、浮遊物に石灰が付着して沈殿するからだ。水面

が鏡のように滑らかな「鏡海」は、陽の当たった周りの山々をそのままに映していた。樹木に覆われた小さな「五彩池」は、深い鮮やかなエメラルドグリーンで、神秘的だった。「五花海」では、体長約一五cmの黒い小魚が群れていた。Y字の要にある「諾日(たくにち)朗瀑布」の三二〇mのその幅は、中国でも最大級だと言う。落差は三〇mだ。嘗てはよくパンダが見られたと言う「熊貓(パンダ)海」では、チベット族の分厚い華やかな民族衣装で記念の写真を撮った。衣装代は一〇元だったが、日本では一〇〇〇円を下らないだろう。

観光客の増加によって潤い、車の所有が一般的になったと聞いた。黄龍も標高三二〇〇〜三六五〇mの高所にある。北に向う、全長七五〇〇mの溪谷で、白や黄色の石灰岩でできた三〇〇〇を越える棚田状の湖沼が連なっている。それが黄色い龍のように見えたことから「黄龍」と名付けられた。九寨溝からは、東に一三〇kmの道のりだ。麓から、定員が一〇名ほどの三年前に開通した新しいロープウェイで上ると、整備された木造の遊歩道があった。黄龍古寺の裏手にある最奥部の「五彩池」は、最も規模が大きく、多数の緑、青、黄、白などの美しい湖沼が広がっていた。「蓮台池」の黄色い石灰岩の棚は、仏像の台座の連なりに見えた。「飛瀑流輝」瀑布では、その名の通り水が幾筋にも分かれて飛ぶように流れ、飛沫が日の光で輝いていた。遊歩道の傍らには、その成長過程を教えてくれる、順に連なる模型のような可愛い棚田があった。

世界遺産は、「未来に引き継ぐべき人類の宝物」である。温暖化のため、地球の将来、即ち世界遺産の将来が危ぶまれているが、人類の英知によって乗り越えて欲しいものだ。

世界遺産は、「未来に引き継ぐべき人類の宝物」である。温暖化のため、地球の将来、即ち世界遺産の将来が危ぶまれているが、人類の英知によって乗り越えて欲しいものだ。

古稀を迎えて



S 34年卒  
石山彼早子  
(旧姓 佐伯)

今年、私は古希を迎えます。体が老いていくことと頭の働きの鈍くなっていく現実をしっかりと体験しております。

でもこれはマイナス思考振り捨ててプラス思考に切り替えることにしました。視力も衰えがちなので本を読むことが極端に少なくなりました。知識の吸収力もがっかりするほど無くなりました。それを少しでも良くするよう克服するには人の中に入って話をしたり歌を唄ったり皆さんの話を聞くことで吸収力が回復しています。又、人の中に居ると適度な緊張感があり身だしなみにも気を使うので、家の中に引き籠っていても増々マイナス面が先行するのではと思っております。

過去の遭遇



S 36年卒  
田中 正明

私は町会の婦人部に入会していますがその中に八十歳になる方が何人かおられていろいろと活動しています。日舞を教えたり、三味線と民謡を教えたり、グランドゴルフに興じたり、一週間のうち五く六日は表へ出ています。(私も現役のパートで働いています)自分に軽くノルマをかけてそれをきちんとこなすことがほどよい健康管理につながるのではないかと思えます。先々の不安はいろいろあるにしても老いを怖れては前に進めなくなると思ひ身体を動かして、旅行をしたり仲間の方達と食事に行ったりしながら生活をエンジョイしています。精神年齢と実年齢とのギャップが少しでも縮まるように願っています。

飛行機はメキシコ湾に面したメキシコ合衆国の高級リゾート地カンクンを発ち、隣国のグアテマラ共和国のフローレスへ向かっていく。高度およそ一万メートル。離陸をする前に、二時間の飛行時間を予定している旨のアナウンスがあった。席を窓側に得ていたので、昼下りのことでもあり時折外を眺めていた。窓の下は密生した巨樹の世界で、ジャングルが続いている。空は澄み切って青く、処々に様々な形をした白い雲が浮かんでいる。

どれくらいの間、このような景観を楽しんだらうか。次の瞬間、衝撃を覚えた。それは快い衝撃であった。どこまでも続いている樹海の中に、明らかに人の手で造り上げた判断できる構造物を見出したためである。相当な距離を隔てて、五六箇所点在している。即座に、デジタルカメラを取り出してシャッターを切った。この間の時間は、二分、一分、いやそれより短かったかも知れない。瞬時に、構造物は後方に退き樹海の中に消えていった。興奮を覚えながら、直後デジタルカメラの映像を幾度となく再生してみた。比較的是つぎり写っていて神殿と推察できる台形状の構造物は、石を何層にも積んで造られているように見える。他は細い塔状のもの、四角い大きな固まりを積み重ねたようなものなどで、四周の巨樹を凌ぐ高さを有している。

此の度の旅の目的は、紀元前の時代にマヤ族がおこし爾来スペイン人に征服される十六世紀まで、中米一帯で大きな広がりをもつて盛衰を繰り返したマヤ文明の片鱗に触れることであった。古代マヤ文明はその後トルテカ文明、アステカ文明に繋がり、これらの文明に関わる遺跡はユカタン半島だけで九〇〇箇所、中米全体で一萬箇所にものぼるのだと現地でお聞きした。買い求めたメキシコ合衆国とグアテマラ共和国の地図を開くと、地図の中に事実遺跡の印が数多く記されていた。と

は言え、遺跡群の大多数はジャングルの中にある。現地に辿り着くことができる遺跡は限られ、それらの地に達するためには樹々を拓いて道が付けられなければならない。存在が確認されているほかに、密林の中に放置され現代の社会と隔絶したままの遺跡も少なくないと考えられる。以前カンボジアのアンコール一帯で見た、先人の叡智を今に伝える構造物の破壊と淘汰が四圍の巨樹の根に圧倒され急速に進んでいた光景と重なった。前記の数字を聞き知った時驚嘆したが、併せてマヤ文明とそれに続く文明の中に身を置いた人々の活動のあとに畏敬の念すら覚えたのである。

マヤ文明を代表し世界遺産にも登録されている、ティカル、チチェンイツァ、ウシュマル、カバー、テオティワカンなどの遺跡群を訪れた。ティカル遺跡は密林を拓いた広大な地に、崩壊に向かいつつある多くの神殿や塔を擁していた。神殿IVは中段までのぼることができ、陽のぼる前の静寂の中で一時を過ごした。痛いほどの外気の中で、瞑想している幾つもの国の人たちの姿があった。神々の都と例えられるテオティワカンでは太陽と月の階段状の二つのピラミッド(神殿)にのぼって周囲を一望、更に一世紀の頃の建設と推定されている計画都市の中を歩き構造物の壮大さと重厚さ、配置の妙を実感した。また、マヤ文明は卓越した暦法を駆使していたが、チチェンイツァ遺跡では天体観測を行ったカラコル(天文台)と、その知識を凝縮したクルカンの階段状のピラミッド(神殿)に、現代と変わらない叡智を見た。

これらの遺跡群は、圧倒的な存在感を示して体の中に入ってきた。しかし、あの飛行機の窓越しに遭遇し、瞬時にして後方に退き樹海の中に消えていった構造物は、何にも増して鮮明な記憶となって残っているのである。

異国で触れた人の心の温かさ  
フランスでのハプニング



S 46年卒  
笹山 幸子

長女がフランスで結婚式をあげるというので、私は重い腰を上げ、思い切ってフランス観光もしてこようということになった。新婚旅行でハワイに行つてから〇〇年ぶりの海外：パスポートの取得から始まって、ほぼ初めての海外旅行の気分だった。

旅慣れた？姉に連れを頼み、計画を任せられた。限られた日数で少しでも多くのものを見ようと、結婚式以外の日には、しっかりとバスツアーを入れたので、日程を消化するのに追われ

た。それでも、パリ市内・モンサンミッシェル・ベルサイユ宮殿の観光はベテラン日本人ガイドさん同行なので、何の心配もなく、それなりに楽しめた。

日程の後半に入れていた南仏一泊旅行でちよつとした出来事があり、そのときはとても焦った。その思い出話を周りの人に話す度に少しずつ私の記憶が薄らいできたようだが、思い出しながら書いてみたい。

4月15日、パリ市内のホテルを朝6時に出発、リヨン着6時45分。リヨン発7時15分のTGVで約3時間の列車の旅に出た。10時前にアビニオンに着いて、現地日本人ガイドさんの車でアルルの跳ね橋などを一日観光。クルド？ドライブ？な性格のガイドさんがかつかり。観光ガイドなはずなのに、観光先付近まで車で連れて行くと、「後は自由に見て、〇〇時に駐車場に戻ってきてください。」という感じで、詳しい説明がいつさい聞けない。

お勧めのレストランに昼食のために立ち寄ると、メニューはフランス語のみ、英語は殆

ど通じない。なんとか口に入るものを頼んだが、忘れられたのか？と思うほど、配卓されるまでかなりの時間がかかり、ようやく食べたら、観光する時間がほとんどなくなる始末。それでも、自然を満喫できて、まあよかったと思うことにした。明日はパリに帰るだけだから大丈夫と、その夜は翌日のハブニングなど予測するすべもなく、美味しいフランス料理に舌鼓を打ち、心地よい疲れで眠りについた。

翌16日は朝のうち小雨交じりだったが、日中には日も出て、アビニヨンの街を姉とショッピングを楽しみながら散策し、午後3時の路線バスでアビニオン駅へ向かい3時30分アビニオン駅に到着。こゝまではグッド。ハブニングはこの後に起きた。

午後4時アビニオン発リヨン行きTGVの指定席券を持っていた。駅の表示と構内放送は全てフランス語でチンパンカンパン、後は4時丁度に到着するTGVに乗ればよかつた。列車は4時を2分ほど過ぎた頃、ホームに到着。姉と私は予定の列車と思ひこみ、乗り込んだ。次に停車した駅で若い男性が乗ってきて、「ここは僕の席だ」と英語で主張。私たちは後ろの席の人に同意を求めて、私たちは半ば諦めて別の席に座ったようだった。

次に検札の人が来て、切符を確認。フランス語しか話せないようだが、それでもジェスチャー交じりで「あなたたちは違う列車に乗っている。次のマツシーで下車して別の列車に乗り換えなさい」と言っているようだった。でも、こちらが英語で問うても理解できないらしく返答はない。そんなわけで話は通じず検札の人も行ってしまった。もしかしてほんとに私たちが違っていても、と頭を過つたが、かといって、言葉のわからないこのフランスで、全く知らない駅で降りたらどんな

ことになるか？と思つたら、降りることはできなかつた。

そのうち、リヨン着予定の時間をとうに過ぎたのに、まわりの景色が違ふ、やつぱり間違えたのかも？と本当に不安になり、周りの乗客に問うた。その時、私たちの周りには六人の外国の方がいらしたが、私が片言の英語で助けを求めると、そのうちの四人は首を傾げ、残りの二人の方が私の問いに応じてくれた。メモ用紙はあるか？と聞かれお渡しすると、図を書いて説明してくれて、「あなたたちはTGVではなくTGVに降つてしまつた。だから次のTGVで降りてパリへの降り方をわかる人に聞きなさい」と英語で言われた。

私たちが「はあ、」という感じでいたら、そのうちの一人の女性が、「私は次の駅TGVで降りますから、乗り換え電車のところまで連れて行ってあげましょう。」と下さつたので、救いの神とばかりに、私たちはその人の後について列車を降りた。

乗り換え電車の所まで行く途中、タクシ乗り場があつた。と、その女性から、「電車でなくタクシで帰りますか？」と聞かれた。「所要時間と金額によりますが」と私が答えたら、「では運転手に聞いてみましょう」と言つてくださったが、タクシはいっぱい停車しているのにどれも運転手が乗つていない。がっかりしていると、その女性から別の提案があつた。

「私はこの駅の駐車場に自分の車を置いていて、私が乗換駅アントニーまで連れて行ってあげますから、そこから地下鉄を乗り換えてお帰り下さい。」と予想もしない話にとても恐縮したが、有難くお願いした。

道中話していると、その女性はアントニー在住の方のこと。なんとラッキーなこと。救われた！という思いだつた。

一時間も乗せていただいたらどうか？アントニーに着いたのは夜8時を過ぎていた、と記憶している。予定外の展開に慌てていて時計を見る余裕もなかつたので、はっきりわからないのだが、とにかく戸外がまだ明るかつたのを覚えていた。その方が、「この辺では夜8時でもまだ明るいですよ」と言われた。

別れ際にお札と私の名刺をお渡ししようとしたら「とんでもない」と固辞され、名刺のみ受け取られた。親切にいただいた方にお名前・ご住所等お聞きするのは失礼に当たると思つたので控え、その代わりに、名刺をお渡しする際、「心からの誠意」と、いつか東京にお出での際には是非ご連絡ください。ご案内しましょう」と申し出るのがやつとだつた。

アントニー駅で切符を買い求めることから改札に入るまで、最後まで親切に付き添っていただき、御蔭さまで、無事パリのホテルに帰り着くことができた時には、夜11時30分を回つていたようだ。

その日は溜まつた疲れと安堵で、二人ともぐつすり眠つた。

そんなドタバタ劇のあつたフランスの旅、一番の思い出は「娘の結婚式」と言いたところだが、正直なところは、このアビニオンから始まつたハブニングとそれに続く感動の結末であつた。

言葉の通じない異国で得た「人の心の温かさ」：すごく嬉しかつた。あの方の親切がなかつたら今頃どうなつていただろう？と思うと、今でも不安になる。あの思いは一生忘れられない！

お名前もわからないので、こちらからは連絡の取りようがないが、いつか是非日本を訪れてほしいと思つている。その時には私も、「心からの歓待」をしたい。

## タイム・ラグ

S47年卒

佐々木郁子  
(旧姓 遠野)



子供の頃、父の仕事の関係で、何度か転校を繰り返した。だから私には文通友達が大量いた。ほぼ毎日のように手紙が届き、私もまた、まるで日記を書くように毎日手紙を書き送つていた。

郵便受けに届く手紙は、学校から帰つた時の一番の楽しみで、封筒が分厚いほどうれしかった。私も負けずにいつも便箋四、五枚は書くようにしていた。ただその頃から感じていたことがある。こうして書いてあることはどれも過去に書かれたことで、今のことではないということだ。だから、それぞれの手紙に書かれていることにコメントしても殆ど意味がないように思つていた。受け取る友達には以前に書き送つた内容の返事など求めていないのだから。

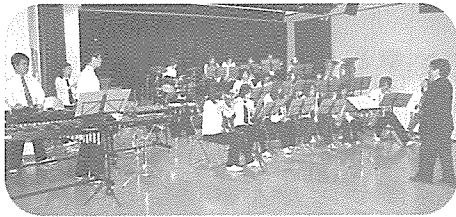
手紙はただ、自分が元気であることを知らせ、その時の自分の伝えたいことを伝えるものだと割り切つていた。それに対して会話は、双方瞬時にしての掛け合いだから、タイム・ラグがない。読み返す楽しみがない代わりに、タイム・ラグによる誤解もない。自分の心を伝えるのは、会話が一番と思つていた。

昔手紙で、「ずつと好き」と書かれていたのを、私はそのタイム・ラグを考えて、(今でもそうかしら)と疑心暗鬼に受け止めたものだが、年を重ねた今なら別の視点で考える。つまり、過去の一時であろうとも、自分のことを好きだと思つてくれたことが、ただうれしいうれしい。時はどうせ過ぎていくもので、全てはいずれ忘却の彼方に消えていく。その一時一時の積み重ねを考えたなら、タイム・ラグなど考慮することは意味がないように思うのだ。いくつもの年を重ねてやつとこんなことが分かつてきた。





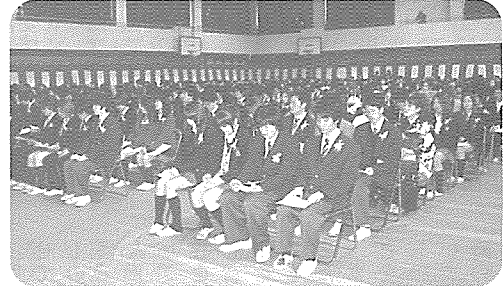
優勝者  
ミニサイクル  
ゲット



総会  
懇親会  
平成21年4月26日(日)

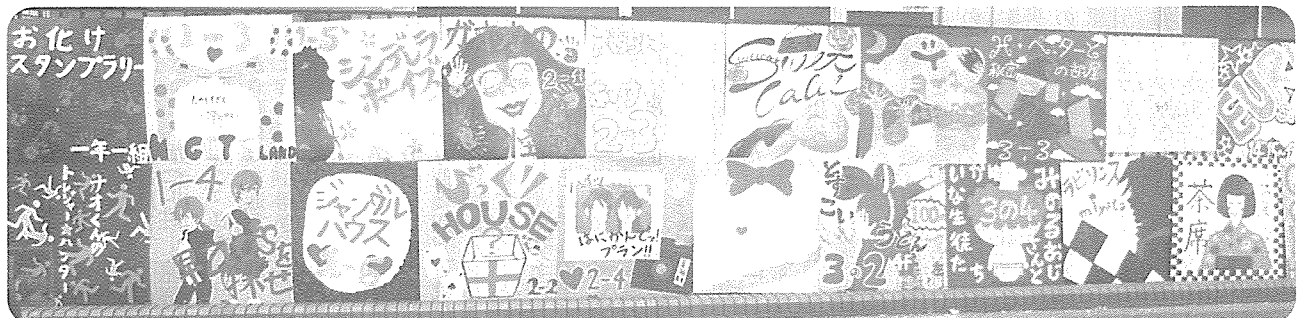


平成21年3月5日 卒業式



看板大賞とは

向陵祭のPRのため、各クラスごとに製作された18枚の中より選出されたものです。選出は各クラス委員及び生徒会役員等によるものです。





# 茨城大会

21年5月24日(日)

水戸ハイアットホテル



中央が講師 伊勢武治氏 (S31卒)

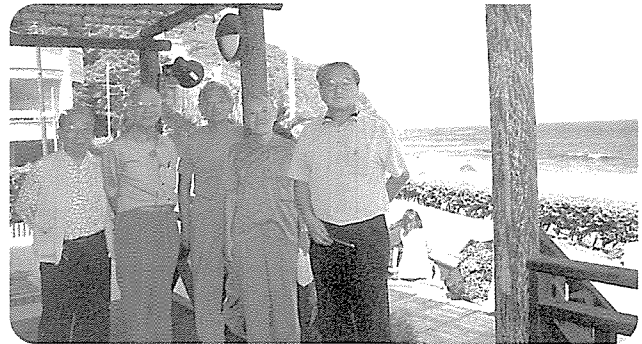


研修会模様

# 合同旅行会

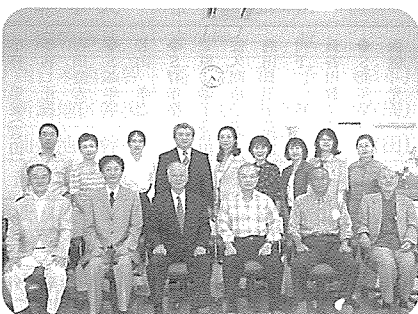
21年9月5日(土)～6日(日)

熱川シーサイドホテル&近辺散策(足湯場等)



# ホームカミングセミナー 懇親会

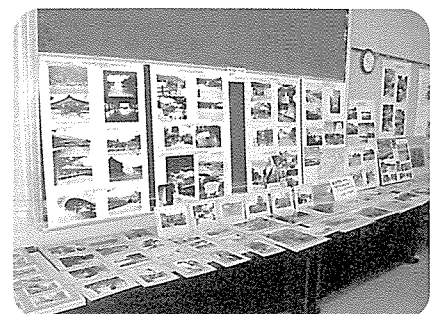
21年9月19日(土)～20日(日)



参加者全員で撮影



懇親会模様



向陵祭 写真出展会場

# 寄付者・会費納入者一覧



平成21年度中に寄付金・年会費をお振込頂いた方々です。(敬称略)  
 尚、3,000円以上の納入は寄付者扱いとして掲載させて頂きました。  
 ご協力誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。  
 尚、記載漏れがありましたらご連絡下さい。(22年2月20日現在)

### 寄付者名一覧

- ◆旧職員
- 池永 武昭
- 板井 哲夫
- 長田 英方
- 近藤 節子
- 橋本 力
- 東 祥三
- 古田 哲
- ◆S24年卒
- 宮下 明子(小野)
- ◆S25年卒
- 茅田喜久子(福田)
- ◆S26年卒
- 鎌田 美子(佐々木)
- ◆S27年卒
- 岡岡 節子(東野)
- 能勢スミ子(関根)
- ◆S28年卒
- 大久保邦重
- 小口トシ子(飯塚)
- 小松原喜美子(松沢)
- 霜田 恒彰
- 中西多恵子(山田)
- ◆S29年卒
- 内丸 喜代(木嶋)
- 篠崎 健次
- 中村香代子
- 橋田美智子(山口)
- 濱口 春夫
- 星 直正
- ◆S30年卒
- 中村 素子(河野)
- ◆S31年卒
- 小川 力洋
- 堀田 仍美(坂口)
- 川端 春生(三橋)
- 小柴美英江(大塚)
- 小林 啓子(小川)
- 沼田 敬二
- 三田 昌男

- 山本 越子(福永)
- ◆S32年卒
- 櫻井 弘清
- 佐藤 元是
- ◆S34年卒
- 石山彼早子(佐伯)
- 立花 玲子(古川)
- 永田 正博
- ◆S35年卒
- 五十嵐光俊
- 江藤 鉄兵
- ◆S36年卒
- 我妻 真典
- 岩井 和子(大野)
- 北川 敏子
- 久保田昌雄
- 太宰 研二
- 田中 正明
- 松垣 宏道
- 真塩 共栄
- ◆S37年卒
- 篠崎 安雄
- 宮下紀恵子
- ◆S38年卒
- 佐藤トヨ子(大野)
- 羽柴 美枝(五十嵐)
- ◆S39年卒
- 湯浅美保子(奈良)
- ◆S40年卒
- 井上 芳子
- 小山由記子(吉田)
- 斎藤由紀雄
- 古川 治子(加藤)
- ◆S41年卒
- 尾道 郁代(大橋)
- 原 淑子(近藤)
- ◆S42年卒
- 菊池 武博
- 皆川 和実
- ◆S43年卒
- 井手 章子(丹沢)

- 坂本 裕子(高橋)
- 鈴木 幹夫
- 山邊 光久
- ◆S45年卒
- 金澤 信子
- 宮久保 渡
- ◆S46年卒
- 笹山 幸子
- ◆S47年卒
- 佐々木郁子(遠野)
- 矢島 明子(鈴木)
- ◆S48年卒
- 金原 晶子(佐藤)
- 本多 和子(国分)
- ◆S49年卒
- 今出 隆久
- ◆S51年卒
- 渡辺 陵子(木村)
- ◆S54年卒
- 小椋山大介
- ◆S55年卒
- 広井 誠
- ◆S61年卒
- 今井美代子(清水)
- ◆H5年卒
- 高橋 康隆
- ◆H9年卒
- 高橋 博史
- ◆H17年卒
- 斎藤 千春

### 会費納入者名一覧

- ◆S24年卒
- 井上 早苗(阿部)
- 高木 芳江(高木)
- 堀田 恵津(山田)
- ◆S25年卒
- 大塚登喜子(久保)
- 東雲 佳子(田川)
- 昼間 敦子(関)
- 本多美代子(今井)

- 前田恵美子(田辺)
- ◆S27年卒
- 安土 靖子(川崎)
- 上原 茂子(荻原)
- 大井 弘子(市川)
- 太田 きよ(大田)
- 幸田 俊子(岩田)
- 酒井美代子
- 佐藤 陽子
- 清水 時代(木之村)
- 瀬戸口弘子(馬場)
- 高橋 清子
- 津雲 貞子(松田)
- 長谷川千代(中沢)
- ◆S28年卒
- 井上 昌子(押田)
- 岩松 英子(塚田)
- 内山 昂子(豊田)
- 江島 きく(荒川)
- 川崎美和子(高橋)
- 久保田慶子(佐々木)
- 黒川 滋洋
- 小林 裕子(足立)
- 竹内佐代子
- 辻本佳津子(池亀)
- 長坂 順子(横川)
- 中村 弥生
- 早船セツ子
- ◆S29年卒
- 荒木 彩生(三井)
- 金子 寛子(山中)
- 北岡千枝子(松田)
- 倉田 淑子(綾部)
- 越中美佐子(越中)
- 照沼 和子(島田)
- 長井 広美(岡戸)
- 百野 啓介
- ◆S30年卒
- 長縄 信孝
- 服部 依子(星出)
- 広江 英一

- 福原 淑子(野口)
- 山田 順一
- 若木 康孝
- ◆S31年卒
- 石山 登
- 居村 正久
- 佐藤佐江子(森)
- 水津 信雄
- 鈴木やす代(渥美)
- 高尾 和子(杉本)
- 田中 澄子(小粥)
- 塚本トメ子(佐藤)
- 中島 徹
- 二瓶恵美子(佐抜)
- 樋口 禮子(不破)
- 姫野千代子(近藤)
- 深瀬 恒矣
- 堀江 幸子
- 松居 晃
- 吉田美千代(比企)
- ◆S32年卒
- 石井とし子(石田)
- 大津 紀男
- 木谷とも子(高岸)
- 小西 圭子(城)
- 佐久間博子(岩垂)
- 津坂 敬子(石神)
- 春川 園子(勢)
- 米光富美枝(林)
- ◆S33年卒
- 中河 健男
- ◆S34年卒
- 息柄 邦夫
- 植山榮次郎
- 乙部たみ子(新名)
- 郡司 茂代
- 国府田美恵子(島田)
- 菅口 雅子
- 古林 徹
- 佐山 周
- 鈴木 紀(菅原)

- 田牧 絃一
- 本多 重行
- 森本 絃子(太田)
- ◆S35年卒
- 山北 寛久
- 大久保圭子(大久保)
- 金子 操子(村瀬)
- 倉橋 勝子
- 小島 洋子(嶋)
- 清水 幸明
- 難波田久子(土井)
- 浜野輝子(佐原)
- 三浦みさ子(江島)
- 山本 一智(高橋)
- ◆S36年卒
- 伊藤 恒雄
- 奥村 誠
- 久保田留子(浪川)
- 塚原 元昭
- 鶴岡 実
- 寺尾ヒロミ
- 三野 洋子(前原)
- ◆S37年卒
- 浅原美代子(野原)
- 坂谷 勝
- 今村 春江(星)
- 小黒 由明
- 河原 正史
- 柴野 一恵(菅野)
- 鈴木多可子(浅賀)
- 角田 友子(杉山)
- 南方 洋子(富田)
- 牧野 進
- 町田 信子
- 山口 洋子(上野)
- 山崎 政利
- 山崎 恵子(田辺)
- ◆S38年卒
- 太田 和子(豊田)
- 小野 勲
- 坂井 昭子(筒山)

- 谷口 昭夫
- 宮沢 博子(興津)
- ◆S39年卒
- 大川 文子(吉井)
- 川崎 良子(上野)
- 木内 明代(田口)
- 北田 照子(大山)
- 能州 慶次
- 藤尾 誠
- 盛岡 治英
- ◆S40年卒
- 相澤 妙子(戸川)
- 秋山 浩一
- 大西 政男
- 澤田 孝子(藤村)
- 杉浦 重治
- ◆S41年卒
- 井村 忠
- 鶴飼 俊子
- 杉原 和子(松村)
- 戸田 光子(土井)
- 長谷川三枝子(原)
- 溝口 進一
- 吉田 恵子
- ◆S42年卒
- 池ノ上政雄
- 植原美代子(川田)
- 簡田 照良
- 佐古岡まさみ(畑中)
- ◆S43年卒
- 正田 京子(菅谷)
- 豊野 英正
- 中川 敏彰
- 松村由美子(高橋)
- ◆S44年卒
- 秋谷 実
- 飯野 正則
- 大熊 雅男
- 加藤 篤子(内藤)
- ◆S45年卒
- 石田 悦子(丸山)

- 小林 里美(吉田)
- 小林 正夫
- 吉田登志子
- ◆S46年卒
- 若山 孝之
- ◆S47年卒
- 栗原 泰子(孤田)
- 佐久間裕子(高根)
- 高田真里子(渡邊)
- 丹下 薫
- ◆S48年卒
- 飯嶋 光子
- 遠藤 清孝
- 柏 英明
- 品田 秀子(佐藤)
- 須賀 福子(牧野)
- 関口多鶴子
- ◆S49年卒
- 石川 宣司
- 上野 一成
- 川崎すみ子(白石)
- 川島 清次
- 桑原 博
- 辻 薫
- ◆S50年卒
- 横山久美子
- 永井すま子
- 成瀬 由起(千園)
- ◆S52年卒
- 五味 和之
- ◆S53年卒
- 中沢香代子(近岡)
- ◆S54年卒
- 堀井 貴司
- 松尾 佳子
- ◆S56年卒
- 小野由美子(奥宮)
- ◆S57年卒
- 飯岡 明子
- 岡岡 美佐

◆S58年卒 梓澤 秀昭  
 ◆S59年卒 旗野 敏弘  
 木下 玲子(川井)  
 千田(仁江)樋口  
 ◆H5年卒 阿部 直子(雨宮)  
 ◆H6年卒 稲子 祐紀  
 ◆H8年卒 菅井 良樹  
 ◆H10年卒 高橋 美法  
 ◆H19年卒 青木 竜哉  
 ◆H20年卒 大塚 大輔

**運営費にご協力をお願い**  
 会活動活性化に向け、ご提案・ご寄付・年会費等  
 のお振込み方、ご協力をお願い申し上げます。

# やよい俳壇

檜 紀代選

(S 31 佐藤令子 旧姓 安藤)

片影や犬心得て先に入る

S 27 森重竜郎(龍彦)

嗣長はわが家の家系冬深し

S 27 小松原錦子(旧姓 吉沢)

足早に梅見て茶屋に腰を据え

S 30 安河内恵美

(旧姓 鷹見恵美子)

氣力満ち疲れ知らずや阿波踊り

S 31 梶田仍美(旧姓 坂口)

苦も樂も受け止め上手葡枕

S 31 麻生やよひ

(山本越子 旧姓 福永)

檜 紀代吟

桜けふ片言ほどの散りぐあひ

☆俳句の世界へのお誘い

俳句を一緒に楽しみませんか？  
司馬遼太郎の『坂の上の雲』がドラマ化されました。メイキングの話では、NHKもとても力を入れていたとのこと。

明治維新を経て日本が大きく変わったことは日本史の授業でも教わりましたが、『俳句』という言葉を作ったのが正岡子規だったこと、ご存知でした？文章を話すように書くというのを奨励したのも彼。そんなこともドラマから読み取ってください。

で、俳句のお仲間になりませんか？ご連絡、お待ち致しております。  
連絡先 麻生やよひ

(山本越子 旧姓 福永)

TEL/FAX

〇三—三五三—一七四八九

E-mail etsutra@krabiglobe.ne.jp

来年度、七十歳、六十歳、五十歳、四十歳、三十歳になる期の同窓会の皆さん！同期会を開催しませんか。同窓会でお手伝いたします。その期の宛名シールと通信費を補助致します。その他の期の方で、開催を希望する方にも宛名シールをお渡します。(但し幹事の皆様には、同窓会活動以外には使用しない旨の誓約書をいただきます)ぜひ総会にご出席頂きたくお願い申し上げます。希望される期の代表の方は、ご連絡ください。

担当 副幹事長 宮久保 渡

E-mail: wniyaku@tubaocn.ne.jp  
FAX 〇三—六四—一五四九二

## 訃報

津田 龍一 旧職員 H20. 4. 28  
飯田 幸男 旧職員 H21. 9. 27  
岸 博章 S 28卒 H21. 3. 18  
藤本 幸子 S 30卒 H16. 6. 16  
孕石(和田)久枝 S 47卒 H21. 1. 24  
森 郁子 H 5卒 H20. 12. 8  
心よりご冥福をお祈り申し上げます  
ご報告のありました方のみをお知らせしています

## 同窓会役員名簿

平成22(2010)年2月20日現在

役職	氏名 (旧姓)	卒年	〒 住 所	電話番号
顧問	佐々木 益 男	歴代校長		
〃	新城 昇	〃		
〃	池 永 武 昭	〃		
〃	北 村 透	〃		
〃	北 村 正 生	〃		
〃	石 井 隆 夫	〃		
〃	戸 谷 賢 司	〃		
名誉会長	前 蘭 実	校 長		
会 長	小 川 力 洋	31年卒		
副会長	三 田 昌 男	31年卒		
〃	杉 浦 重 治	40年卒		
会 計	尾 道 郁 代 (大橋)	41年卒		
〃	長谷川 三枝子 (原)	41年卒		
書 記	山 本 越 子 (福永)	31年卒		
〃	笹 山 幸 子	46年卒		
〃	佐々木 郁 子 (遠野)	47年卒		
会計監査	石 山 彼早子 (佐伯)	34年卒		
〃	寺 村 光 司	37年卒		
幹 事 長	櫻 井 弘 清	32年卒		
副幹事長	宮久保 渡	45年卒		
西日本地区幹	高 尾 和 子 (杉本)	31年卒		
新潟地区幹事	小 山 ゆき子 (吉田)	40年卒		
仙台地区幹事	吉 田 恵 子 (吉田)	41年卒		
静岡地区幹事	増 子 明 美 (若尾)	31年卒		
茨城地区幹事	友 部 佳 子 (立川)	35年卒		
事務局	藤 原 成 憲	副校長		
相談役	川 端 春 生 (三橋)	31年卒		
〃	田 中 正 明	36年卒		
〃	千 田 二仁江 (樋口)	59年卒		



【事業報告】

平成20年度分 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

I 役員会(幹事会)

H20年4月9日(水) 会計監査会 2名参加 於 小川事務所
H20年5月8日(木) 総会慰労・反省会 14名参加 於 駒込「磯太郎」
H20年8月7日(木) 合同旅行会打ち合わせ 13名参加 於 北区東田端地域振興室
H20年12月2日(火) 会報原稿依頼と忘年会 10名参加 於 北区東田端地域振興室
H21年1月24日(土) 原稿集めと新年度顔合会 8名参加 於 北区東田端地域振興室
H21年3月28日(土) 新年度計画会議 8名参加 於 北区東田端地域振興室 (新入会員幹事12名にも呼び掛けをしたが皆無)

II 総会記念演奏会 於 母校6階ホール
H20年4月20日(日) 14:30～15:30 母校吹奏楽部 20名出演 指揮・原田亮先生 いつもながら真面目で立派な演奏でした。 観衆70名程。 同窓会から激励の意味で礼を尽くした。

III 総会/懇親会 於 母校6階ホール
H20年4月20日(日) 13:00～ 例年のとおり少数だけでしたが、報告、審議可決した。25名参加 16:00～ 新成人(平成18年卒)40名程参加
新会員(平成20年卒)20名程参加
会員(一般)30名程参加
パーティではノンアルコールとなり、立派なお料理と数多くの商品で賑わった。中でもディズニールランドペア券はジャンケンゲームで盛り上がった。

IV 研究活動(含全国大会)

H20年5月24日(火) 静岡大会を開催 11名参加 於 静岡マイホテル竜宮 県内在住者22名に呼び掛けを行った結果、現地からの参加は1名だけだった。参加者は終了後市内浅間神社を見学した。
H20年9月6日(土)～7日(日) 合同旅行会 9名参加 於 湯西川平家本陣
H20年9月20日(土)～21日(日) 向陵祭に参加 於 母校B棟4階視聴覚教室 PTA会場に同窓会コーナーを設営、出展した。 田中氏(モロッコ展)、川端氏(北京展)、小川氏(栗林公園展)
H20年9月21日(日) 15:30～16:30 ホームカミングセミナー開催 24名参加 於 母校B棟4階視聴覚教室 “星野ジャパンが握る日本のプロ野球の将来” 講師:斎藤柳光氏(日刊スポーツOB)
H21年3月4日(水) 13:30～ 小川会長が卒業式予行日に参加して、当会入会の御礼と4月26日に入会歓迎会があり、当日全員の個人印鑑を進呈すべく用意している旨発表した。 於 母校体育館
H21年3月24日(火) 13:30～ 小川会長が入学説明会に参加して当会の会報を配布した。同時に3年後の卒業時には当会へ入会して頂くよう同意書の配布と説明を行った。

V 会報関係

H20年12月2日(火) 19号企画会議 10名参加 於 北区東田端地域振興室
H21年1月24日(土) 編集会議(原稿持ち寄り) 8名参加 於 北区東田端地域振興室
H21年1月29日(木) 編集会議(原稿持ち寄り) 7名参加 於 北区東田端地域振興室

H21年2月22日(日) 校正会 2名参加 於 小川事務所
H21年2月24日(火) 校正会 3名参加 於 小川事務所
H21年3月3日(火) 母校関係(手渡し含む)1200部を直送した。
H21年3月末日 住所判明会員10,955名に業者から配布した。

VI 渉外関係

H20年4月1日(火) 前園実新校長をお迎えご挨拶をした。 於 母校
H20年4月8日(火) 入学式に参列した(小川会長、田中相談役) 於 母校
H20年5月30日(金) PTA総会後の懇親会に小川会長が出席した。 於 文京グリーンコート
H20年6月6日(金) 体育祭を小川会長が参観した。 於 六義園
H20年9月20日(土)～21日(日) 向陵祭に役員多数参加した。 於 母校
H21年3月5日(木) 卒業式に小川会長が参列した。 於 母校体育館 卒業生を祝う会に小川会長が招かれ出席した。 於 浅草ベルモントホテル

VII 振興助成

H21年1月29日(木) 第24期(S47年)同期会代表幹事都留みどり氏(253名呼び掛け)に助成した。 第8期(S31年)同期会代表幹事山本越子氏(230名呼び掛け)に助成した。

VIII 卒対関係

前年の総会にて決定した新入会員全員に個人印鑑を作製し4月26日(日)に贈呈することとした。

【事業計画】

- I 総会・懇親会(新成人を祝う会・新卒業生歓迎会)開催の件 やよい19号2頁参照□ H21年4月26日(日)
II 全国大会・やよい会茨城大会・同時セミナー開催の件 やよい19号2頁参照□ H21年5月24日(日)
III 宿泊研修会(合同旅行会)開催の件 やよい19号2頁参照□ H21年9月5日(土)～6日(日)
IV 向陵祭参加とホームカミング開催の件 やよい19号2頁参照□ 向陵祭 H21年9月19日(土)～20日(日) 15:30～懇親会開催
V 同期会・クラス会等への通信費の助成 呼びかけ人数1通につき200円 報告文を受け取り次第、代表幹事の指定口座宛お振込致します。会合の集合写真等を添えて小川会長宛速やかに郵送して下さい。
VI 広報誌の発行と発送(会員相互の意思の疎通を図るため) 平成22年2月に“やよい”20号発行の予定(会員からの適切な投稿を期待)。原稿締め切りは1月末とする。新卒業生の入会者に対して記念品(例:印鑑)を贈呈する。
VII 年会費、寄付金ご協力をお願い 新卒者の入会金の殆どは会報関係に充当。年会費は1口1000円～2000円程度運営費としてご協賛をお願い致します。年会費込み3000円以上の送金は寄付金扱いと致します。
VIII 次期定期総会の件 平成22年4月25日(日)開催の予定。アトラクション、懇親会についての提案を受付中。新成人を祝う会(H20年3月卒業生対象)を継続開催予定

【予算】 予算案左記のとおり

平成20年度会計報告及び平成21年度予算案

都立向丘高等学校同窓会 平成21年3月31日現在

Table with 3 columns: 収入の部, 20年度決算, 21年度予算. Rows include 入会金, 年会費, 総会懇親会費, etc.

Table with 3 columns: 支出の部, 金額, 金額. Rows include 全国大会関係費, 交通費, 通信印刷費, etc.

上記の通り収支報告申し上げます。

平成21年4月26日 同窓会会長 小川 力洋 会計 尾道 郁代 長谷川三枝子

監査の結果誤りの無いことを認めます。

平成21年4月8日 監査 石山彼早子 寺村 光司